

おう吐物の処理方法



事前に職員の動きを決めておきましょう。
おう吐の現場にいた人は、まずあわてず応援をよび

- おう吐処理をする人
- 吐いた利用者の世話をする人
- その他の利用者の世話をする人
- 窓を開ける人 など

チームで対応しましょう。

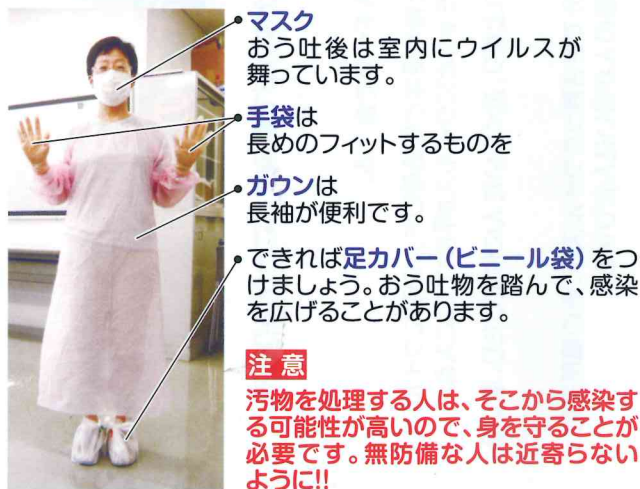
1 用意するもの

消毒薬などは利用者の手の届かないところにおくなど、事故防止にも注意!



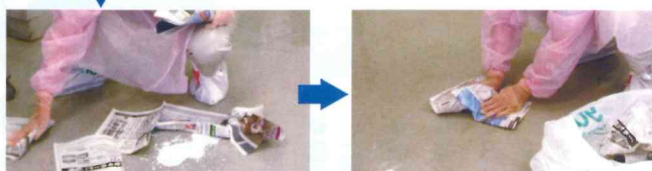
必要な物品はまとめて各室・各フロアに準備します。
身につけるものは使い捨てがよいでしょう。

2 処理する人の装備



3 おう吐物の処理(集めて捨てる)

①必ず窓を開ける

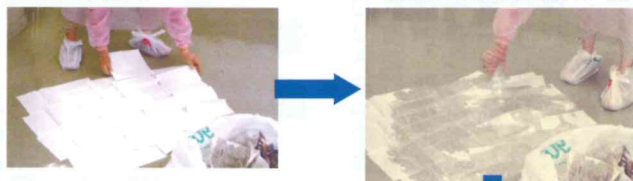


②外側から中心に ③こすらず、すくい取るように

必要なものをそばに置いて処理開始。
ウイルスを広げないように注意してすくい取るようにします。
すくい取った紙は、すぐにゴミ袋に入れます。

4 床面の消毒

①やや広めにペーパータオルを置く ②ペーパータオルに塩素系漂白剤をふりかける。



④10分たったら消毒終了



③おう吐物をふきとった後は、0.1%塩素系漂白剤で浸すように10分程度消毒します。

注意
カーペットなどは変色する場合があります。

⑤消毒のあとは水ぶきします。

5 処理後(脱衣・手洗い)

①足カバーをはすす



④手袋は表面についたウイルスがとびちらないよう、表面を包み込むように裏返してはすします。



②身につけた物はウイルスで汚れています。素手で触らず、静かにはずしてゴミ袋にいれます。足カバーがなかったらクツの裏を塩素剤でふきます。



⑧処理した後は石けんで十分手を洗います。感染の可能性があるので48時間は体調に注意して!



⑦捨てるものをすべてゴミ袋に入れたら0.1%塩素系漂白剤をしみこむ程度にいれて消毒袋の口をしぼる。(空気を押し出さないように)



流行期には、適切に希釈した塩素液を作っておくと便利。

★冷暗所保管で半年程度もちます。

消毒薬の作り方

[5~6%塩素系漂白剤使用]

★0.1%塩素液は
500mlペットボトルの水にキャップ2杯の塩素系漂白剤を入れる。

★0.02%塩素液は
2ℓペットボトルの水にキャップ2杯の塩素系漂白剤を入れる。

注意
「濃ければ効く」は間違い!

